



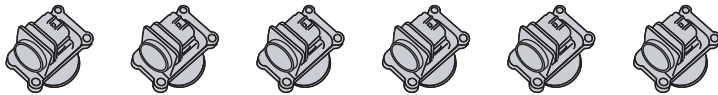
この度は、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
 この「取付説明書」をよくお読みの上、正しく安全に作業を実施してください。  
 また、取り付け上の理由、要因により発生した事故やトラブル、製品不具合等については、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。  
 尚、本説明書は、製品を取り付けたあとも大切に保管してください。

注意事項 **▲ 注意** 必ずお守りください！

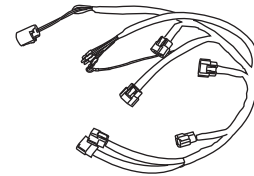
1. 指定車種以外への取り付けは絶対に行わないでください。製品の破損や車両事故を起こす原因となります。
2. 本製品の分解や加工等は絶対に行わないでください。製品の破損や車両事故を起こす原因となります。
3. 水平な場所で輪止め等を使用して車両を確実に固定したうえで作業を行ってください。車両が動き出し事故を起こす原因となります。
4. エンジンを停止し、エンジンキーを抜いて作業を行ってください。
5. エンジンが十分に冷えてることを確認してから作業を行ってください。事故や火傷を起こす原因となります。
6. 安全のため、バッテリーのマイナス端子を外して作業を行ってください。尚、バッテリーのマイナス端子を取り外すと盗難防止の安全装置等が作動する車両がありますので、車両マニュアルや車両整備書に従って作業してください。
7. エンジンを始動する場合は、換気の良い場所で行ってください。排気ガスにより一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
8. 本製品の取り付けは、整備資格を有する工場やプロショップ、又は整備資格を持った方をお願いしてください。
9. 点火時期やブースト、燃調等を変更している車両は、本製品装着後に再調整を行ってください。エンジンを破損する原因となります。
10. 本製品はエンジンの不調を補修するものではありません。取り付け前にエンジン作動が正常であることを確認し、不具合がある場合は修理をしてから本製品の取り付けを行ってください。
11. 本製品に異常があった場合は、本製品の使用を止め、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

構成部品

①プラズマダイレクト:6

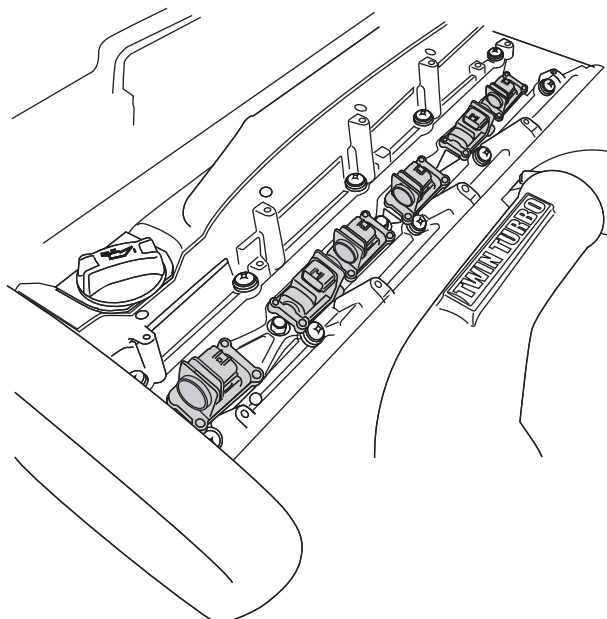


②専用ハーネス:1



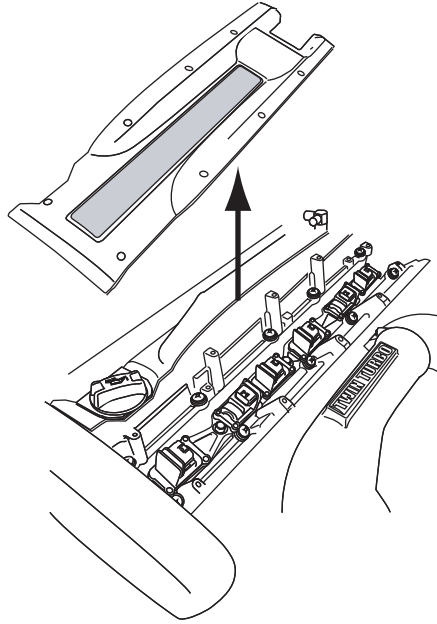
③ナンバーリング(1~6):各1    ④丸端子(メス):6    ⑤丸端子(メス)用スリーブ:6    ⑥M5ボルト:1

取り付け概要



## 取り付け手順

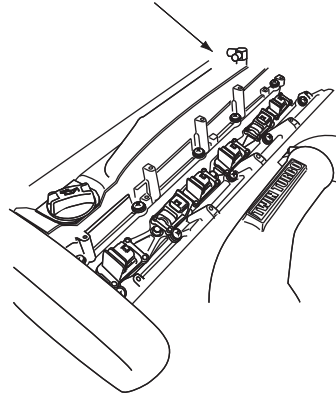
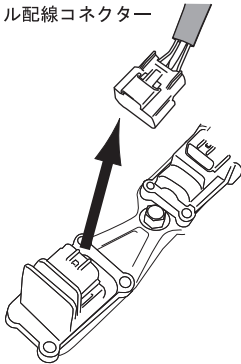
- 1 イグニッションコイルが取り外せるように、ブローバイホースやセンターオーナメント（エンジンカバー）、パワートランジスタ等を取り外してください。



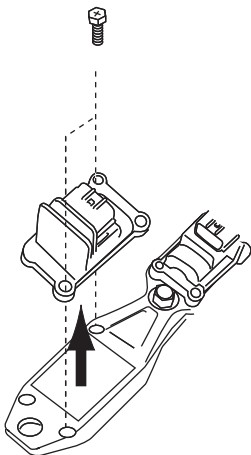
- 2 イグニッションコイルの配線コネクタ、電源コネクタ（GTR32は3極/GTR33は2極）、パワートランジスタOUT側（イグニッションコイル側）コネクタ、ハーネスのアース線を取り外して下さい。純正ハーネスは使用しませんので、大切に保管しておいて下さい。

電源コネクタはこの辺りで接続されております

イグニッションコイル配線コネクタ

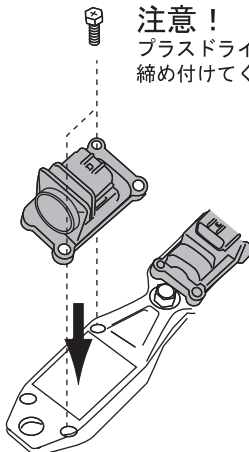


- 3 各気筒のイグニッションコイルを取り外してください。



- 4 プラズマダイレクトを取り付けてください。

**注意！**  
プラスドライバーを使用して締め付けてください。



**▲ 注意** 必ずお守りください！

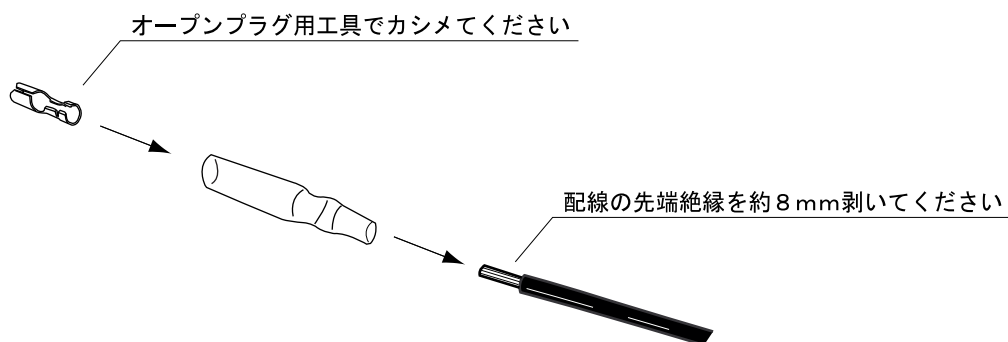
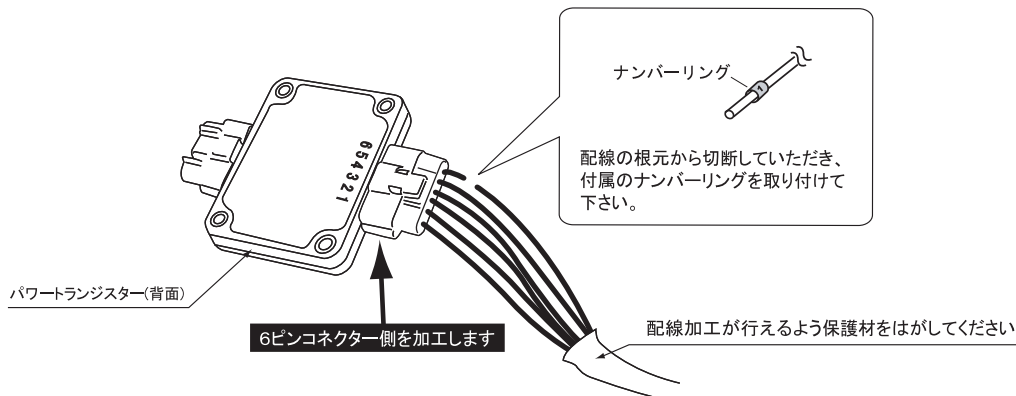
プラズマダイレクトにラベルが張ってある側のボルトを締め付ける際はボックスレンチを使用せず、プラスドライバーを使用して締め付けてください。ボックスレンチを使用した場合、プラズマダイレクトの金属部分にボックスレンチが当たってしまい、プラズマダイレクトが破損する原因となります。

**▲ 注意** コイル固定ブラケットにタップが切れていない場合

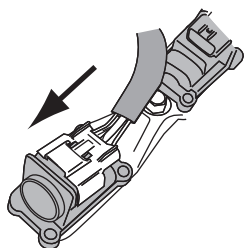
車両によってはプラズマダイレクトを固定させるブラケットの穴にタップが切れていない場合があります。その際は『5mm/0.8ピッチ』でタップを切ってください。

5 トランジスタ I N側 (ECUハーネス側) の配線を下記の手順にて加工します。  
加工は必ず1本ずつ行って下さい。

- 1) トランジスタ I N側の配線を切断します。切断はカプラーの根元から行ってください。
- 2) 切断した配線に、パワートランジスタの刻印番号と同じ「ナンバーリング」を挿入してください。
- 3) 配線に「スリーブ」を挿入してください。
- 4) 配線の先端絶縁を8mm剥いていただき、オープンプラグ用(ギボシ端子用)工具を用いて「丸ギボシ」をカシメて下さい。



6 プラズマダイレクトへ「専用ハーネス」のイグニッションコイル配線コネクターを取り付けて下さい。

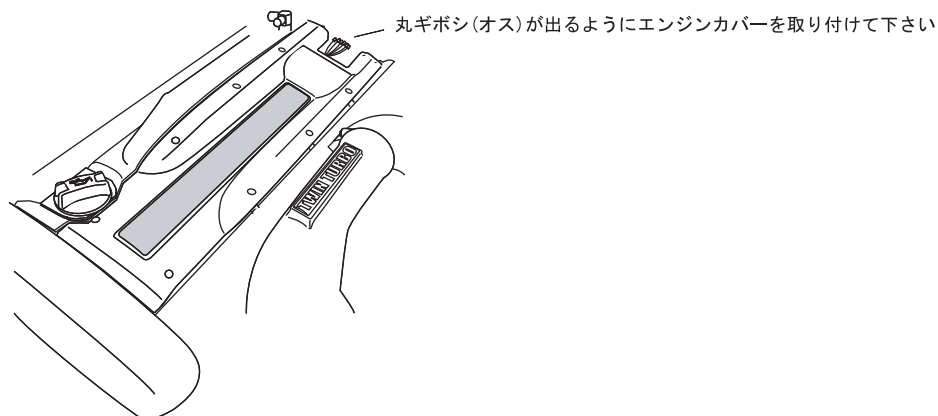


▲注意 コネクターを間違えないようご注意ください

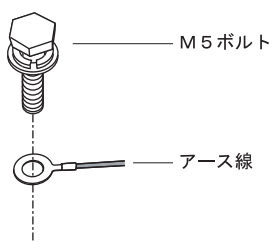
コネクターを間違ったコイルへ差し込むとエンジントラブルの原因となりますのでご注意ください。  
専用ハーネスの1気筒, 3気筒, 5気筒用配線コネクターにはシールが貼ってありますので、これを参考に取り付けを行って下さい。

7 「専用ハーネス」の電源コネクター (GTR32は3極/GTR33は2極)、ハーネスのアース線を元の位置に取り付けて下さい。

8 センターオーナメント (エンジンカバー) を取り付けて下さい。その際専用ハーネスの丸ギボシ (オス) を下図の様に取り出しておいて下さい。



- 9 手順5にて加工した丸ギボシ(メス)と専用ハーネス側丸ギボシ(オス)を接続して下さい。  
接続する際は必ず「ナンバーリング」の番号が同じになるよう接続して下さい。  
また、接続部には外れ防止のためビニールテープなどを巻いておいて下さい。
- 10 トランジスタ I N側( ECUハーネス側)配線のアース線を付属の「M5ボルト」を使用して元の位置に取り付けて下さい。



- 11 手順1にて取り外した部品を元に戻して下さい。(パワートランジスタは使用しませんので大切に保管しておいて下さい)